

企画・調査専門委員会 平成 15 年度活動報告

平 16 年 5 月 7 日
ITS 情報通信システム推進会議
企画・調査専門委員会

目次

- 1.企画・調査専門委員会について
 - 1-1.企画・調査専門委員会の活動方針
 - 1-2.企画・調査専門委員会の構成
 - 1-3.平成15年度企画・調査専門委員会活動概要
- 2.平成15年度地域ITSリファレンスモデルWG活動内容報告
 - 2-1.地域ITSリファレンスモデルWGについて
 - 2-2.地域ITSリファレンスモデルとは
 - 2-3.平成15年度WGの活動成果
 - 2-4.平成15年度WGの活動成果
 - 2-5.平成15年度WGの活動成果
 - 2-6.平成15年度WGの活動成果
 - 2-7.平成15年度WG活動成果のまとめ
- 3.平成15年度ITSコアアプリケーションWG活動内容報告
 - 3-1.ITSコアアプリケーションWGについて
 - 3-2.平成15年度WG活動の流れ
 - 3-3.平成15年度WGの活動成果
 - 3-4.平成15年度WGの活動成果
 - 3-5.平成15年度WGの活動成果
 - 3-6.平成15年度WGの活動成果
 - 3-7.平成15年度WGの活動成果
 - 3-8.平成15年度WG活動成果のまとめ
- 4.平成16年度企画・調査専門委員会活動について
 - 4-1.平成16年度企画・調査専門委員会活動スケジュール

1.企画・調査専門委員会について

1-1. 企画・調査専門委員会の活動方針

平成15年度 企画・調査専門委員会は、ITS情報通信システムの普及促進を加速することを目標として、自治体のITS導入を啓蒙するための「地域ITSリファレンスモデルWG」及びITS民間ビジネス早期熟成に向けた提言を目指すための「ITSコアアプリケーションWG」の2つのWG体制で活動を行った。

「地域ITSリファレンスモデルWG」

地域ITSの普及促進に向けた「地域ITSリファレンスモデル」説明会の実施

地域ITSサービスモデルのイメージ図の作成

地域ITS導入検討ガイドブックの作成

平成15年度版ITS事例集の作成

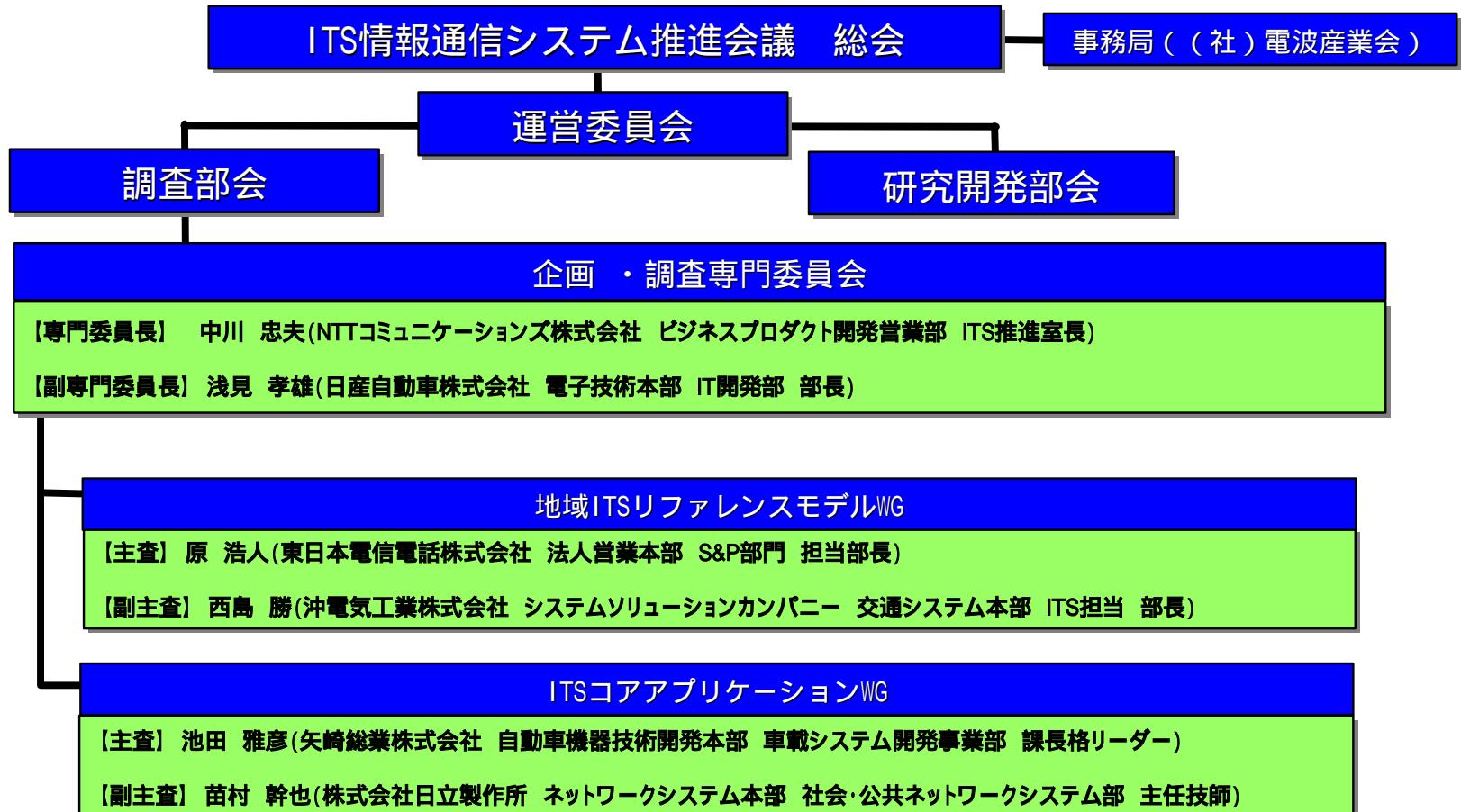
「ITSコアアプリケーションWG」

民間ビジネスにおけるITSアプリケーションの調査・分析

ビジネスとしてのITSアプリケーションの早期熟成に向けた提言のための考察

1-2. 企画・調査専門委員会の構成

専門委員会は、平成15年度について以下に示すWG構成にて活動を行った。



1-3. 平成15年度企画・調査専門委員会活動概要

日時	イベント	トピック
平成15年 7月15日	第14回部会長専門委員長会議 (中川専門委員長 代行 五十嵐公郎)	H15年度活動方針報告 ・第1回地域ITSリファレンスモデル説明会(札幌 6月28日) (地域WG)
10月7日	第15回部会長専門委員長会議 (中川専門委員長 代行 五十嵐公郎)	H15年度活動報告 ・第2回地域ITSリファレンスモデル説明会(新潟 8月1日) (地域WG)
12月12日	第16回部会長専門委員長会議 (中川専門委員長)	H15年度活動報告 ・新潟県A町へのITS導入シミュレーション実施(12月) (地域WG) ・ITS関連事業者へのヒアリングの実施(11月18日) (コアWG)

平成16年 2月20日	第17回部会長専門委員長会議 (中川専門委員長)	H15年度活動報告 ・H15年度報告書作成方針の報告
3月12日	予算調整会議 (岡委員:地域ITS WG)	平成16年度活動の予算化調整 (導入検討ガイドブックの印刷費用 (100万円)) 地域説明会時に使用予定

2.平成15年度
地域ITSリファレンスマodel
WG
活動内容報告

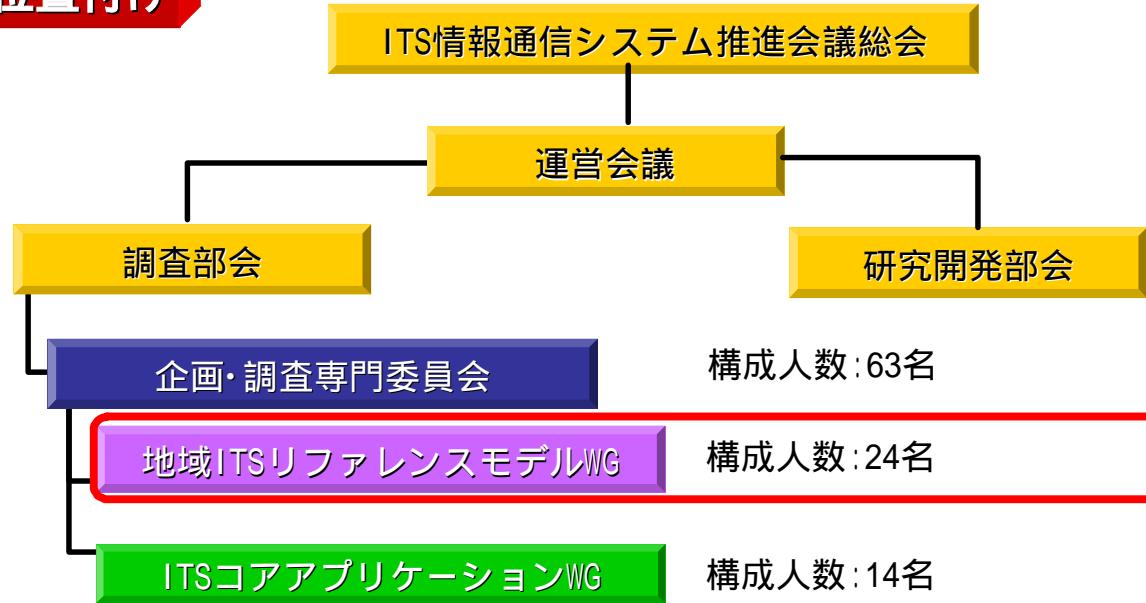
2-1. 地域ITSリファレンスモデルWGについて

目的と活動

本WGは、平成13年9月に地域ITS情報通信システムWGとして企画・調査専門委員会に設置され、ITS技術を活用した地域活性化の検討が、より容易に、より効率的に推進されるよう、参考となる情報等を提言していくことを目的とする。

具体的な活動としては、平成13年度に地域ITS展開シナリオについて検討し、地域ITSの導入検討時に参考書として活用できるリファレンスマネジメントを取り纏めた。また、平成14年度、平成15年度にかけ、地域への普及啓蒙活動に取り組むとともに、リファレンスマネジメントをより効果的に活用できるよう、地域ITSのサービスモデルイメージ図ならびに地域ITS導入検討ガイドブック、ITS事例集などのツールの作成を実施した。

本WGの位置付け



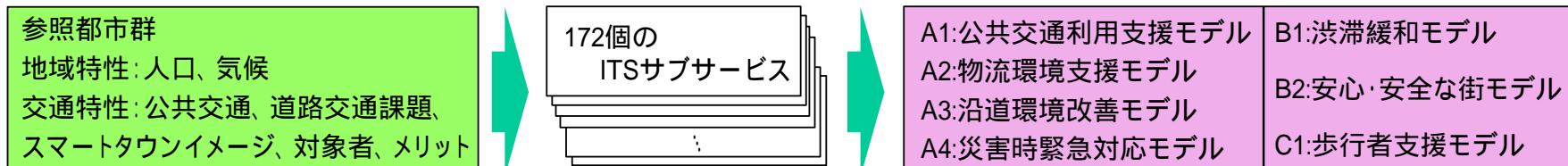
2-2. 地域ITSリファレンスモデルとは

概要

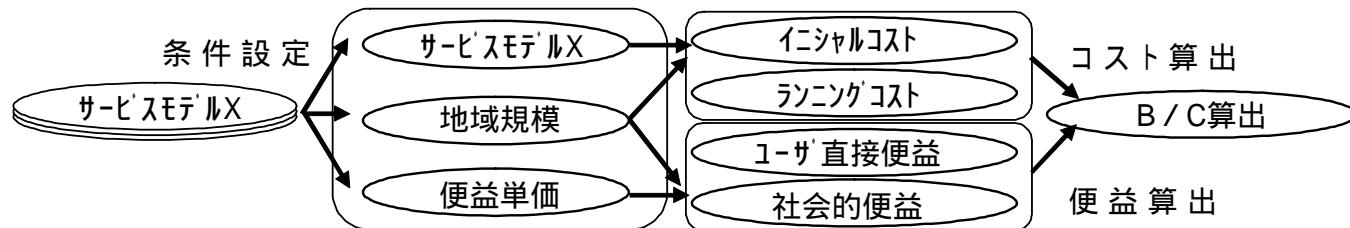
「地域ITSリファレンスモデル」とは、地域のITS推進者が各地域に適したITSサービスの導入検討、費用対便益(B/C)のシミュレーション、官民分担の議論が行えるようにサポートする参考書として検討されたものである。

7つの地域ITSサービスモデルの特定

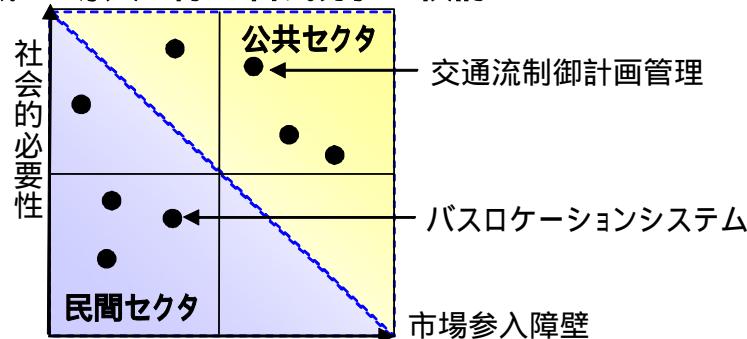
参照した都市の課題、特性から、最適なサービスを抽出(地域特性によって必要事項を取捨選択し、独自モデルも作成可能)



7つの地域ITSサービスモデル毎にB/Cを導出



地域ITS導入の際の官民分担を検討



実現難易度:比較的小
社会的必要度:比較的小 の場合

民間セクタよりのモデルだが公共セクタの関与も必要であり官民連携で推進する必要がある

2-3. 平成15年度WGの活動成果

地域ITSリファレンスマodel意見交換会

概要

第1回(H15.6.28) 北海道ITS推進フォーラム

(意見・要望)

- ・B/Cの検討では、生活の質的向上以外に安全面の評価値もあるとよい。
- ・地域特性については、冬季に特化したサービスモデルも検討してほしい。
- ・ITS計画策定では、利用者参加型の事例を紹介してほしい。
- ・バスを利用した情報収集では、バス事業者のメリットを明確にしてほしい。
- ・荷捌きに関しては、現在既に検討中のため、比較検討していきたい。

第2回(H15.8.1) 新潟県IT & ITS推進協議会

(意見・質問)

- ・海外のITSに係る展開状況はどうか？
- ・実際にITSを推進使用とした場合、行政側に組織の壁があり、なかなか進まないが、ITSが推進されている都市ではどのように進めているのか？

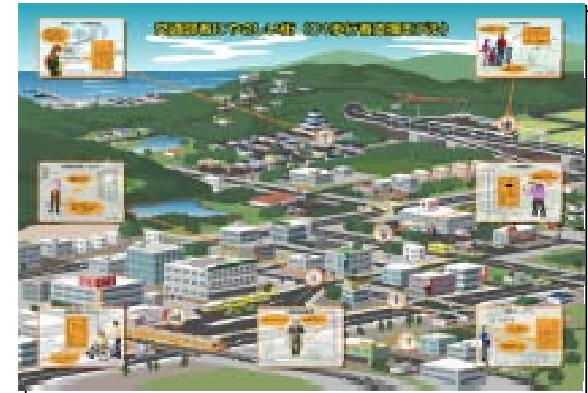
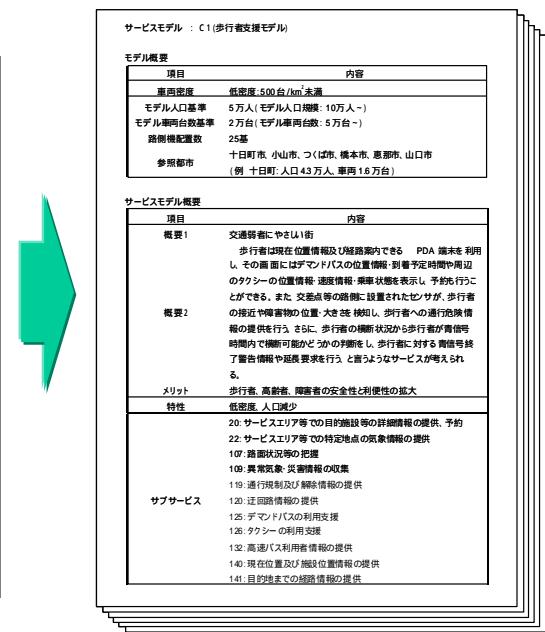
2-4. 平成15年度WGの活動成果

地域ITSサービスモデルイメージ図

概要

7つの地域ITSサービスモデルについて、地域のITS推進者の方々が地域ITS導入後の街のイメージ、享受できるメリットを直感的に理解し易いよう、H13年度作成したリファレンスモデルより抜粋したキーワードを基に具体的なイメージ化を図り、取り纏めたものである。

- A1:公共交通利用支援モデル
- A2:物流環境支援モデル
- A3:沿道環境支援モデル
- A4:災害時緊急対応モデル
- B1:渋滞緩和モデル
- B2:安心・安全な街モデル
- C1:歩行者支援モデル



報告書からキーワードを抜粋

キーワードを基にイメージ化

2-5. 平成15年度WGの活動成果

平成15年度版ITS事例集

概要

自治体の方々より好評を得た平成14年度版ITS事例集について、ITS情報通信システム推進会議のホームページ上からも広く事例の募集を行い、内容の充実を図った。

キ テ ル	<p>No. 54 [モデル : C1 歩行者支援モデル、カテゴリ : 公共交通支援]</p>								
デマンド交通システム									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">運用フェーズ</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">構想 >> 実験 >> 開設</td> <td style="width: 20%;">運用場所</td> <td style="width: 20%;">福島、島根、石川など</td> </tr> <tr> <td>サブサービス番号</td> <td>125.126</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		運用フェーズ	構想 >> 実験 >> 開設	運用場所	福島、島根、石川など	サブサービス番号	125.126		
運用フェーズ	構想 >> 実験 >> 開設	運用場所	福島、島根、石川など						
サブサービス番号	125.126								
A 1	サービス概要								
A 2	<p>「デマンド交通システム」は、地方における公共交通問題を解決するシステムです。</p> <p>政府の規制緩和により、赤字路線バスの休廃止が自由化されました。が、交通手段がなくなるということは、地方で生活する住民にとっては大きな問題です。地方自治体にとっても福祉バスやスクールバスの運営は、多大な支出が必要となる重要な課題です。</p> <p>「デマンド交通システム」は、地域のタクシー会社や自治体のワゴン車などを乗合で利用することにより、安価な運賃費・利用費で新交通システムの実現を支援します。</p>								
A 3									
A 4									
B 1	サービスイメージ								
B 2									
C 1									
カ テ ゴ リ									
	導入メリット								
	<p>住民にとっては、戸口から戸口までの送迎サービスを受けられ、安価で便利な交通手段が確保できます。</p> <p>高齢者の活動範囲が広がり、地域活性化につながります。</p> <p>自治体にとっては、赤字路線に対する補助金を削減でき、地域住民に対して高付加価値の行政サービスを提供することができます。</p>								
	出典								
	<p>東日本電信電話株式会社 http://www.ntt-east.co.jp/e-gov/system/06demand/</p> <p>本資料は、上記HPの内容を引用して地域ISリフレンジモデルWGが作成し、出典元に確認をとったものです。</p>								

システムとサブサービスの対応一覧表

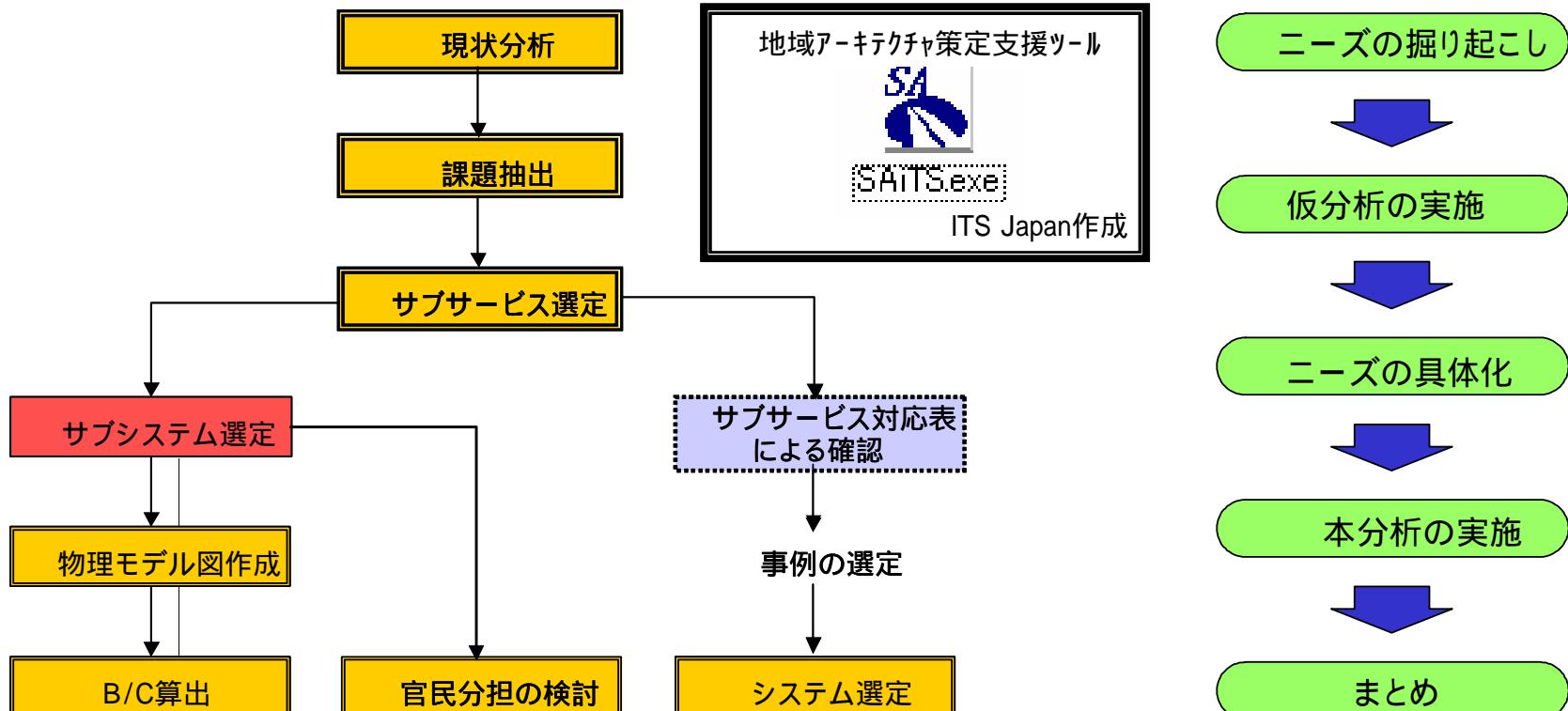
2-6. 平成15年度WGの活動成果

地域ITS導入検討ガイドブック

概要

ITS推進の方々が「地域ITSリファレンスマネジメントモデル」を利用する際の実践的手引書を作成することを目的として、実際の都市を対象に地域ITSの導入シミュレーションを実施し、その過程を取り纏めたものである。

なお、シミュレーションの実施に際しては、ITS Japanが作成した地域アーキテクチャ策定支援ツールを活用しながら分析を実施した。



2-7. 平成15年度WG活動成果のまとめ

地域ITSリファレンスモデル意見交換会

北海道ITS推進フォーラム、新潟県IT & ITS推進協議会との意見交換会を実施した

地域ITSサービスモデルイメージ図

H13年度作成したリファレンスモデルより抜粋したキーワードを基に具体的イメージ化を図り、取り纏めた

平成15年度版ITS事例集

平成14年度版ITS事例集について、ITS情報通信システム推進会議のホームページ上からも広く事例の募集を行い、内容の充実を図った

地域ITS導入検討ガイドブック

実際の都市を対象に地域ITSの導入シミュレーションを実施し、その過程を取り纏めた

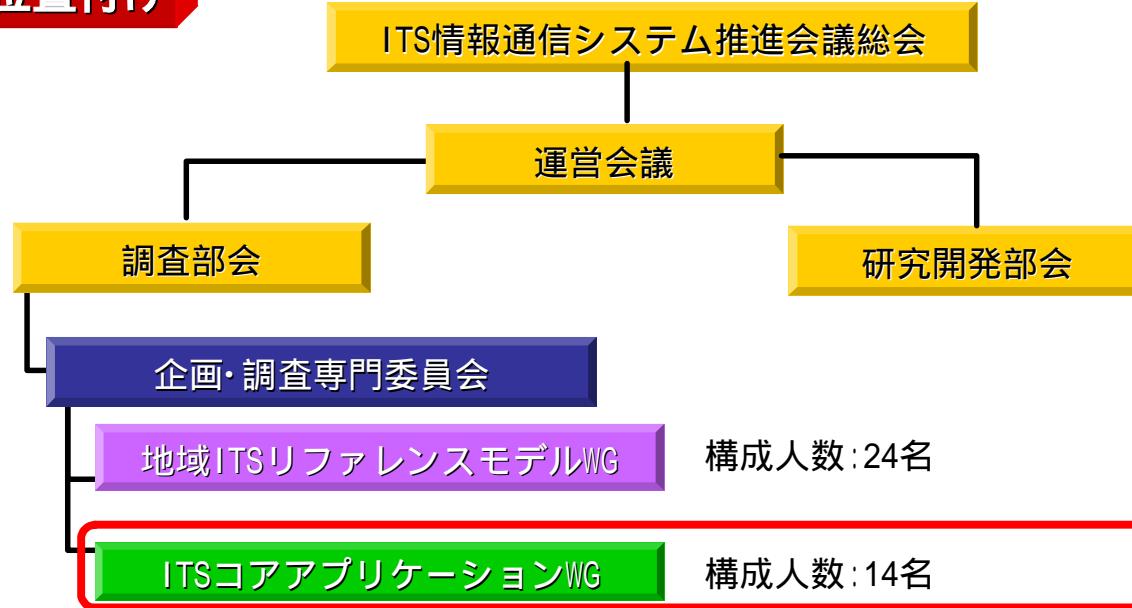
3. 平成15年度 ITSコアアプリケーション WG 活動内容報告

3-1. ITSコアアプリケーションWGについて

目的と活動

現在民間でサービスを提供しているITSアプリケーションの洗い出し、ビジネススキームの明確化、そして現状の問題点を分析し、今後さらにITS民間ビジネスを普及・促進させるために民間、行政がどのような取り組みを行うべきかの提言を行った。

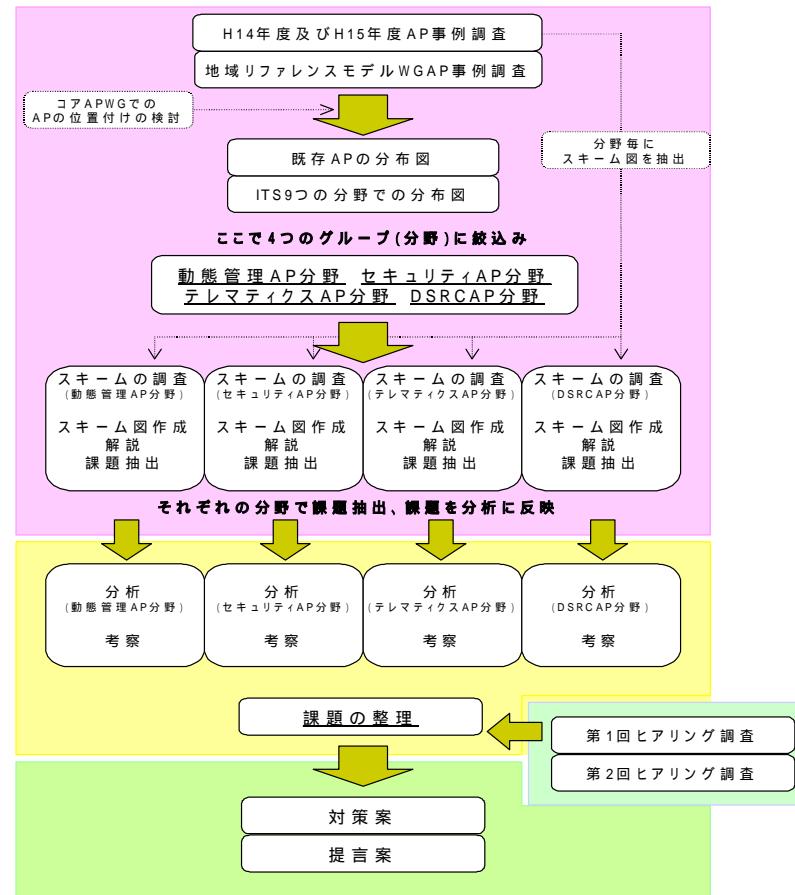
本WGの位置付け



3-2. 平成15年度WG活動の流れ

民間におけるITSアプリケーションビジネススキーム分析

ITSコアアプリケーションWG普及促進に向けた検討の流れについて



民間ITSアプリケーションの9つの
ITS開発分野へのマッピング

民間におけるITSアプリケーション
ビジネススキーム分析

民間におけるITSアプリケーション
のSWOTを用いた分析

普及促進に向けた提言

民間におけるITSアプリケーションについて代表的な4分野(動態管理、セキュリティ、テレマティクス、DSRCAPアプリケーション)に絞り、SWOTを用いた分析により課題を抽出し、対策を集約し普及促進のための提言としてまとめた。

3-3. 平成15年度WGの活動成果

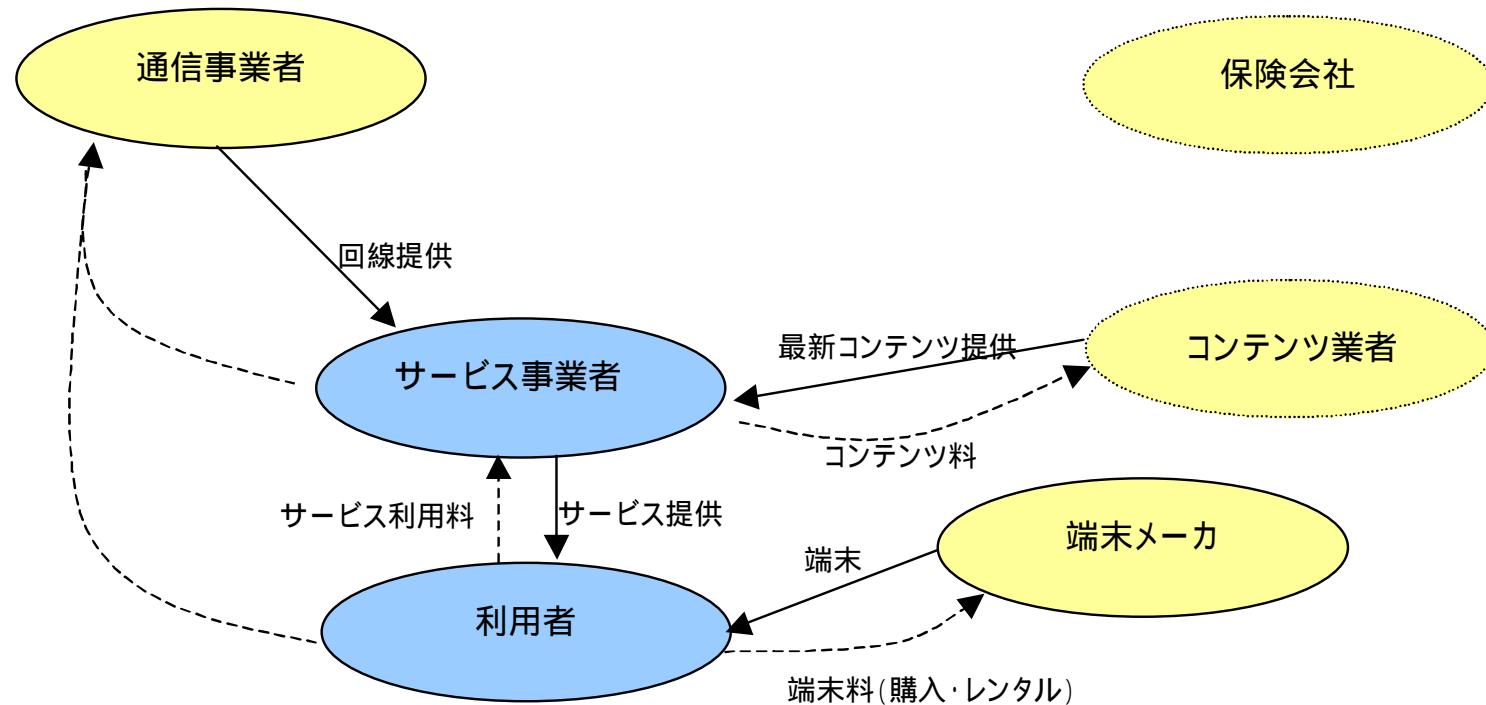
民間ITSアプリケーションの9つのITS開発分野へのマッピング



民間におけるITSアプリケーションについて「高度道路交通システム(ITS)推進に関する全体構想」をもとに4つのアプリケーションに集約し、分析対象を設定した。

3-4. 平成15年度WGの活動成果

民間におけるITSアプリケーションビジネススキーム分析



サービスに端末料、通信費を含む場合あり

例)動態管理アプリケーションにおけるスキーム分析

ビジネスの阻害要因を洗い出すために、民間でサービスが提供されているITSアプリケーションのビジネススキームを図化した。

3-5. 平成15年度WGの活動成果

民間におけるITSアプリケーションのSWOTを用いた分析

S(強み)

- ユーザにとって
- ・システム導入にあたり初期投資が不要
- ・ランニングコストを経費で計上可能
- ・豊富なメニューから自社で必要なものを選択できる
- ・顧客サービスへ繋がり顧客の囲い込みにつながる

W(弱み)

- サービス提供者にとって
- ・資産を持つ必要がある
- ・薄利多売のビジネスである
- ・サービスを始めるのに初期投資が大きい
- ・販売チャネルが明確でない
- ユーザにとって
- ・定量的効果がみえない

O(参入機会)

- サービス提供者にとって
- ・不景気で投資が困難である
- ・ユーザニーズの多様化と高度化

T(脅威)

- サービス提供者にとって
- ・大企業は自社でシステムを構築する場合が多い
- ・同様なサービスが乱立し、市場の競争が激化
- ・サービス競争が価格競争に陥っている現状がある

例)動態管理アプリケーション分野におけるSWOTを用いた分析

ビジネススキームをもとに、ITSアプリケーションの問題点をSWOTを用いてITS事業者にとっての強み(S)・弱み(W)・参入機会(O)・脅威(T)の分析を行い、それぞれのアプリケーションに対する普及促進策についてまとめた。

3-6. 平成15年度WGの活動成果

普及促進に向けた民間への提言

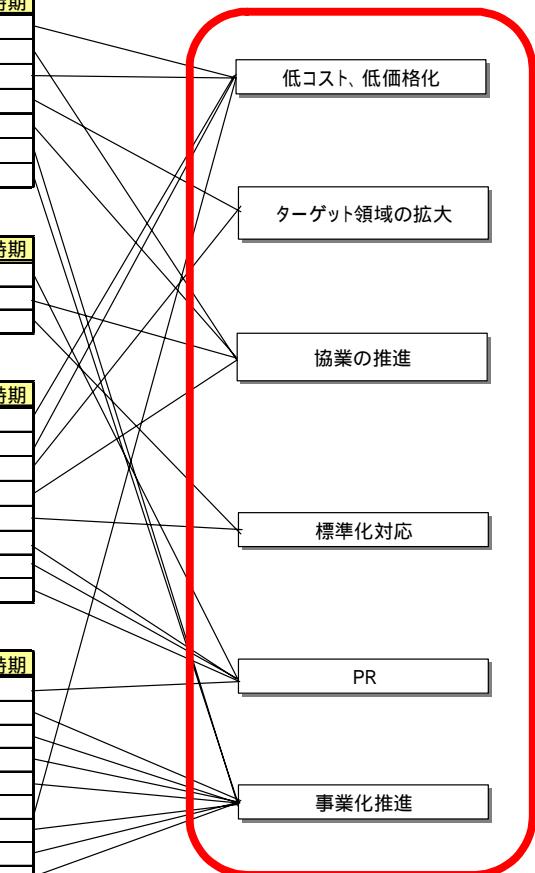
課題		実施時期
動態管理	データ形式などAPプラットフォームを標準化	標準化対応
	ビジネスアライアンスの強化(保険との連動など新たなスキームの模索)	協業の推進
	車載機、通信費の更なる低価格化	低コスト、低価格化
	ユーザのITリテラシーの向上	ターゲット領域の拡大
	自動車業界との連携	協業の推進
	環境対策等社会的貢献度の高い導入メリットの追及	事業化推進
	ユーザ利用環境の更なるマーケティング	事業化推進

課題		実施時期
セキュリティ	有効性PRの充実	PR
	システム運用、対処派遣人員における協業	協業の推進
	GPS携帯電話、位置特定方式の標準化	標準化対応

課題		実施時期
テレマティクス	車載器の低価格化	低コスト、低価格化
	サービス料金の低価格化	低コスト、低価格化
	安全性と利便性の両立	ターゲット領域の拡大
	同業者との協業領域拡大	協業の推進
	コンテンツプロバイダが安心してコンテンツを提供できる仕組みの構築	標準化対応
	プライバシーの保護	PR
	販売店の教育、販売促進費投入	A
	TVやラジオでの告知(CM)	PR

課題		実施時期
DSRC	DSRCのPR	PR
	普及促進のための事業展開	B
	車両への車載器のビルトイン化	A
	カーナビゲーションシステムと車載器の一体化	事業化推進
	ビジネスモデルの確立	B
	路側設備の低コスト化	低コスト、低価格化
	DSRC車載器の店頭販売	事業化推進
	相互接続認証機関の設立	C
	運用事業会社の設立	事業化推進

必要性凡例・・・A)実施済、B)検討中、C)実施時期未定



民間への普及策の提言としては、機器およびサービス料金の低コスト化および低価格化、ターゲット領域の拡大、協業の推進、事業化推進へのさらなる取り組み等に集約された。

3-7. 平成15年度WGの活動成果

普及促進に向けた行政への提言

課題		実施時期
動態管理	ITS通信インフラの整備	ITS通信インフラ整備
	環境対策など社会的貢献の高い規制の実現(明るい規制の実現)	規制(明るい規制)
	ITS普及のための事例のアナウンス	PR

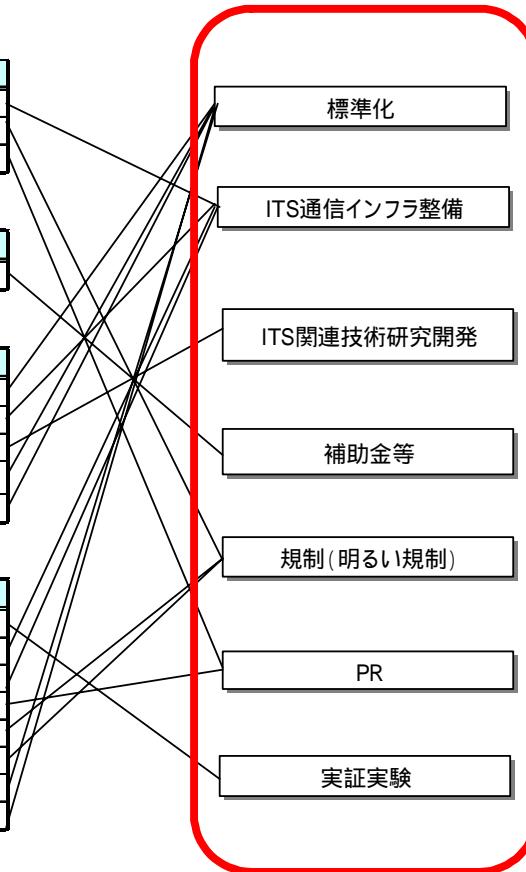
課題		実施時期
セキュリティ	各自治体における助成金制度実施	補助金等

課題		実施時期
テレマティクス	課金プラットフォームの標準化	標準化
	通信費の削減	ITS通信インフラ整備
	無線LANと携帯通信の融合	ITS関連技術研究開発推進
	各種情報交換フォーマットの標準化	標準化
	携帯電話後位機器インターフェースの標準化	標準化

課題		実施時期
DSRC	実証実験の展開	実証実験
	インフラ(路側設備)の敷設に対する支援	ITS通信インフラ整備
	路側設備の設置(官アプリ展開)	ITS通信インフラ整備
	DSRCのメリットPR	PR
	免許申請の簡略化	規制(明るい規制)
	運用場所を固定しない基地局の実現	規制(明るい規制)
	相互接続認証機関の設立	標準化
	通信方式規格標準化	標準化

必要性凡例…A)実施済、B)検討中、C)実施時期未定

行政への普及策としての提言としては、機器間のインターフェースおよび通信手順の標準化、電波利用申請手続きの簡素化、民間施策への金銭的な支援、次世代技術へのさらなる取り組み等に集約された。



3-8. 平成15年度WG活動成果のまとめ

民間としての普及策

- ・低コスト、低価格化
- ・ターゲット領域の拡大
- ・協業の推進
- ・標準化対応
- ・PR
- ・事業化推進

行政としての普及策

- ・標準化
- ・ITS通信インフラ整備
- ・ITS関連技術研究開発
- ・補助金等
- ・規制(明るい規制)
- ・PR
- ・実証実験

4. 平成16年度 企画・調査専門委員会 活動について

4-1. 平成16年度企画・調査専門委員会活動スケジュール

WG	H16年度		4月 5月 6月			7月 8月 9月			10月 11月 12月			1月 2月 3月			(H17年度)				
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月>				
地域 ITSリファレンス モデルWG	H16年度総会									企画・調査専門委員会			企画・調査専門委員会 総会						
										報告			報告						
	地域ITS関係者との意見交換会の開催									ITS Japanとのリエゾン活動			ITSアプリケーションの検討 + 展開方策の策定			報告書取り纏め			
ITSコア アプリケーションWG	ITSアプリケーション分析の拡充									民間ビジネスにおける課題検討			報告書取り纏め						
	民間におけるITSビジネスの動向調査									適宜事業者ヒアリングを開催			報告書取り纏め						